



第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335



新型コロナウイルス感染症への市川市教育委員会の取り組み

市川市内の公立学校は、6月1日から段階的に教育活動を再開し、「感染リスクを可能な限り低減しながら教育活動を維持する」ために、各園・学校では様々な工夫をしてきました。しかし、今までとは違う環境の中で不安や戸惑いを感じている児童生徒がいることも危惧されますので、今まで以上に子供たちに寄り添っていきます。市川市教育委員会としても、下記のような取組を進めていますが、ご家庭におきましても、引き続き感染防止対策に取り組みながら、学校の教育活動へのご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

Q.1 学校で陽性者が確認された場合には、どう対応しているのですか？

A.1 保健所の指示に基づき、下図のように臨時休業等の対応を行います。(令和2年10月14日現在)



令和2年10月13日

◆ 陽性者が確認された際の対応 ◆

児童生徒や教職員に陽性者が確認された場合、保健所は、調査により特定した濃厚接触者に対してPCRによる行政検査を行います。
もし陽性者との濃厚接触が校内で確認されたり、複数世帯・複数名の陽性者が判明したりするなど、校内での感染が心配される場合は、市独自の対応として、保健所による行政検査を受ける濃厚接触者を除いた、陽性者の学級や学年、部活動の児童生徒、教職員などに対して、市によるPCR検査を行います。その場合PCRの検査結果判明や校内の消毒完了までは、学校を臨時休業とします。

本市の公立学校(園)では、6月の学校再開時から9月30日までの期間に、11校で19名の陽性者が確認されています。そのうちの5校で市によるPCR検査を実施し、3日間～8日間の臨時休業を行いました。これまで401名に対して実施した市によるPCR検査の結果は、全て陰性でした。また、19名の陽性者のうち15名が家庭内感染で、残りの4名も感染経路がほぼ判明しており、校内での感染は未だ確認されていません。

そこで、これまで濃厚接触者の確認や消毒等のために実施していた臨時休業の規模を全校臨時休業から、原則学年や学級での臨時休業(学年閉鎖、学級閉鎖)といたします。

決定にあたっては、陽性者の最終登校日や他の児童生徒との接触機会等を鑑みて、保健所とも相談しながら総合的に判断いたします。

なお、仮に保健所や市によるPCR検査の結果、校内での感染拡大の可能性が高いと判断された場合は、全校の臨時休業に変更することや学年閉鎖や学級閉鎖の臨時休業を延長することもあります。

学校の対応

- ◆陽性者が確認された場合、まずは校内の消毒、感染経路の調査、濃厚接触者の特定を行うため、必要に応じて臨時休業(2～3日)を行います。
- ◆感染拡大の可能性が低いと判断した場合(感染経路が明確、濃厚接触者無等)は、通常登校とします。
- ◆感染拡大の可能性が高いと判断した場合(クラスター発生等)は、臨時休業(学級・学年・学校)とします。
- ◆地域全体に感染拡大している場合(緊急事態措置等)は、分散登校等を基本とします。(状況により一斉休業)
※臨時休業の期間及び範囲は、状況によります。

陽性者への対応

- ◇陽性者及び保健所により確認された濃厚接触者は、保健所から指示される期間出席停止とします。

その他の対応

- 市川市では、withコロナを基に「感染は特別ではない」こと、「誰もが感染しうることなので、差別をしない」ことを指導しています。
- 市川市では、保健所が行うPCRによる行政検査とは別に、状況に応じて、該当学級の児童生徒及び教職員等に検査を実施します。
- 市川市では、陽性者が出た場合には、必要に応じて専門の業者による消毒を依頼しています。

新たな学校生活スタイルガイドラインとは？

市川市教育委員会では、「学校再開ガイドライン」を作成し、感染防止対策を取りながら教育活動を進めてきました。7月30日には、感染に関する最新の知見や国・県の「通知」等をふまえて、内容の改訂を行い「新たな学校生活スタイルガイドライン」としました。また、9月18日には2度目の改訂を行いました。こちらのガイドラインは、市川市教育委員会のホームページに掲載していますので、詳細については、ホームページをご覧ください。

※こちらのQRコードを読み取っていただくと「新たな学校生活スタイルガイドライン」をすぐにご覧いただけます。



国会図書館
デジタルコレクションより

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は様々な活動が中止や延期になっています。このような状況の中でも、前向きに取り組む子供たちの活動を紹介します。



歯と口の健康に関心を

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年実施しておりました「市川市むし歯予防大会」は中止となりました。そこで、今年度は歯と口の健康週間の関連事業として、「健歯児童・生徒」の表彰、「歯と口の健康週間作品」の表彰を実施いたします。

7月17日(金)に市川市歯科医師会館において「令和2年度歯と口の健康週間作品審査会」が開催され、今年度の入賞作品が決まりました。応募された絵画や作文には、むし歯予防、特に歯みがきの大切さが表現された作品が多くみられ、審査員の先生方から高い評価を受けていました。

さらに図画ポスターの部の入賞作品は、市川市歯科医師会ホームページのイベントギャラリーに掲載され、明るく元気な作品と評価を受けました。健歯児童・生徒の表彰は各校で実施する予定になっています。

むし歯を予防するためには、歯みがきの習慣を身に付けながら、口の中の健康に関心をもち、歯ごたえのある物を食べ、しっかり運動することが大切とされています。新型コロナウイルス感染症による行動制限は、子供たちの歯と口の健康に、少なからず影響していると思われますので、ご家庭でも歯と口の健康について話し合われて、できることは日々実践してください。

【保健体育課】



須和田の丘支援学校
(稲越校舎)の作品



稲葉 心花さんの作品



寶田 菜々子さんの作品

令和2年度 歯科衛生作品入賞者				
種別	賞	学校名	学年	氏名
図画の部	優秀	鬼高小学校	2	稲葉 心花
	優良	大洲小学校	1	高橋 杏香
	優良	幸小学校	1	濱口 由奈
	佳作	八幡小学校	1	加納 瑞人
	佳作	大洲小学校	1	守屋 里菜帆
	佳作	大洲小学校	3	宇高 啓太郎
作文	一般	稲越小学校	6	平塚 慎之介
	優秀	北方小学校	6	本田 誠吾
ポスターの部	優秀	鬼高小学校	6	寶田 菜々子
	優良	大洲小学校	5	守屋 遼海
	優良	鬼高小学校	4	寶田 蒼一郎
	佳作	鬼高小学校	4	高橋 麻依
	佳作	大洲小学校	4	高橋 優香
	佳作	八幡小学校	4	加納 迅人
支援	優秀	須和田の丘支援学校 (稲越校舎)	6-1 6-2	

(敬称略)

自然や科学へのあくなき探究！

「科学作品審査会」

今年度、残念ながら市内科学作品展は中止となりました。しかし、継続的な努力を評価する機会は設けたいという願いのもと、9月11日(金)千葉県立現代産業科学館にて市川市児童生徒科学作品審査会を行いました。夏休みの期間が短縮となり、例年より短い作成時間となりましたが、各学校から出品された作品を審査し、44点が見事に入賞しました。

これからも身近な自然や科学に対して高い興味関心を持ち、探究する心に一層磨きをかけ、粘り強く挑戦し続けてくれることを期待しています。

【指導課】



標本部門・優秀作品「貝の標本と研究」

ボールに親しむ楽しさを体験

市川市では、千葉ロッテマリーンズの協力のもと小学4年生を対象に「マリーンズ・ベースボールチャレンジ」を開催しています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催が見送られていましたが、千葉ロッテマリーンズのガイドラインに基づき、9月から再開されました。本市では、9月29日(火)に菅野小学校で開催されました。

当日は、マリーンズ・ベースボールアカデミーの武藤コーチ、小川コーチ、遊佐コーチの3名が来校され、感染症拡大防止対策として、「大きな声は出さない」「集まらない」「休憩前には手指のアルコール消毒を行う」などの対策を講じながらボールを使って「捕る」「投げる」運動をしました。

ボールを捕る時はワニの口で「バクッ!」、ボールを投げる時は「パッ、トントン、クルッ!」というコーチの掛け声に合わせて練習が始まりました。「相手が捕れる球を優しさをもって投げよう。」「投げたい方にしっかりおへそを向けよう。」と具体的なアドバイスを受け、相手のことをよく見てボールを投げていました。



練習してだんだん上手に投げられるようになった子供たちからは、「もっと遠くに投げたい」「ボールを打ってみたい」という声も聞かれました。

武藤コーチからは、「私達は指導ではなく、動作ややり方を伝えています。今日の体験をきっかけに、ボールを扱うことが身近になってくれたら嬉しいです。」とお話してくださいました。

【教育センター・保健体育課】

左から：

遊佐コーチ、武藤コーチ、小川コーチ→



はじめまして 夢先生

「JFAこころのプロジェクト」が実施している「夢の教室」が10月1日(木)、2日(金)に南新浜小学校で開催されました。「夢の教室」は、様々な競技の現役選手やOB・OGなどを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを児童生徒に伝えてくれる教室です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、Web会議サービスを利用したの交流となりました。



リモートでの交流のため、初めに音声がかかるかジェスチャーでお互いに確認してから夢先生をお迎えしました。

取材当日の夢先生は、元プロフットサル選手の久光 邦明(ひさみつ くにあき)先生です。久光先生がプロフットサル選手になるまでの出来事やその時の思いなどを交えてお話してくださいました。子供たちは久光先生のお話を集中して聞いていました。お話の途中に設けられた「夢シート」の記入時間には、好きなことや得意なこと、自分の夢やそのためにしていることなどを真剣に記入していました。記入した「夢」を発表した子供には、その場で久光先生が応援



のメッセージを伝えてくださいました。子供からは、「初めてプロの選手に会えたから緊張した。」「夢先生が言っていた『前向きな思いを行動に移す』という言葉が心に残った。」「リモートだけど楽しかった。」などの感想が聞かれました。普段体験できないプロ選手との交流は、子供たちにとって大変貴重な時間になったようです。

【教育センター・保健体育課】

「地域とともにある学校づくり」

コロナ禍も「できる人が、できる時に、できるだけ」 ボランティア活動でソーシャル・キャピタル (社会関係資本)の醸成を！

市川市では、市川版コミュニティ・スクールとして「学校運営協議会」「地域学校協働本部」を一体的に整備し、地域とともにある学校づくりを推進しています。

9月～10月にかけて、「地域学校協働本部」を担う『地域学校協働活動推進員(学校支援コーディネーター)』の研修会を“中学校ブロックごと”に日時を変え、3密を避け、感染予防に留意して研修会を行いました。

研修会では、業務の説明やワークショップを通じて、地域ぐるみの教育への当事者意欲を高めることができました。また、今後、多くのボランティアが学校の教育活動へ参画することから、「ボランティアO・メクイズ」を行いながら、『守秘義務』等の内容について再確認しました。

コロナ禍、ボランティア活動も自粛ムードがある中、参加者から『何か、できることはないか?』という声が多く寄せられました。子供たちと直接関わるようなボランティア活動が難しい時期ではありますが、研修会で出された意見をもとに具体的に計画に移していこうと考えています。是非、多くの方々に協力いただければ幸いです。

研修会で出された意見

- 地域の皆さんが校門に立ち、登校する子供たちを挨拶で出迎える。
- 朝、登校する子供たちを「花いっぱい花壇で出迎え心を明るくする！」ために、各校の花壇整備を行う。
- 散歩しながら子供たちを見守る「ながら見守り」を推進するために、『目印』のようなものを作成し、協力者へ配付する取組。
- 各学校の学校運営協議会委員の写真と一言コメントを載せて中学校ブロック内で周知するための広報紙を発行する。
- 中学校ブロック内で活動する「施設開放団体」を紹介する広報紙を発行する。

大洲中学校ブロックでは、大洲幼稚園、宮田小学校、大洲小学校、大洲中学校合同の学校運営協議会で話し合いがなされ、地域学校協働本部として「挨拶運動」を行うことになりました。

地域のボランティアのご協力を得て、9月28日(月)から10月2日(金)までの1週間、各学校・園の門にて子どもたちを挨拶で出迎えました。

学校を核として、たくましく豊かに生きる子供たちの育成のために、地域(社会)の人々が様々な形で“つながり”を深めていくことが、地域づくりにもつながると考えています。

「ソーシャル・ディスタンス」(社会的距離)が必要な時ですが、「ソーシャル・キャピタル」(社会関係資本“つながり”)の醸成も忘れてはいけません。『つながりは大切に!』これからも、地域ぐるみの教育にご理解



とご協力をいただきますよう、お願いいたします。



【学校地域連携推進課】

子供にかかわる相談はここでできます！

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 (教育センター相談室)

予約TEL 318-3223 (行徳相談室)

火～土(午前9時～午後5時) 対象：3歳～中学校3年生

子育てや発達等の悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が保護者との面接相談をしています。

◆ほっとホッと訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 (教育センター相談室) 火～金(午後0時30分～午後5時)

対象：小学校1年生～中学校3年生

不登校や子育てについての保護者からの相談を電話でお受けしています。

自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※水は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp

対象：小学校1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人からの相談も可能です。

【教育センター】



コミュニティクラブに 参加してみませんか



「みんなで子供たちを みんなでボランティア」を合言葉に、市内15中学校区と1義務教育学校区の16ブロックに「コミュニティクラブ」が設置されています。従前の「ナーチャリングコミュニティ事業」を発展的に引き継ぎ、平成15年度にコミュニティクラブ事業は始まりしました。

コミュニティクラブでは子供たちの遊びを通じ、①子供たちに「生きる力」を培う(健全育成)②地域のコミュニティづくりを進める(地域教育力の向上)③生涯学習社会の創造を目標に様々な活動をしています。将棋教室やお筆体験、茶道体験など室内での活動だけではなく、デイキャンプやお泊まり会といった野外活動、親子での体験活動、おまつりでのブース出展などブロック毎に特色ある遊びの場を運営しています。各ブロックからチラシを配って参加募集をしますので、是非遊びに来てくださいね！(中学生以上の皆さんは運営ボランティアとしての参加もお待ちしております。)



【学校地域連携推進課】

薬物乱用防止キャンペーン

市川市教育委員会では「市川市明るい環境をつくる会推進会議」と連携して、「薬物乱用防止キャンペーン」を毎年10月に実施してきました。

昨年度までは、ボランティアの中学生と高校生がニッケコルトンプラザおよび各駅で、市民の方に薬物乱用防止を訴える生徒参加型のキャンペーンを行ってきました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ポスター(市内各学校)とリーフレット(中学1年生)の配付をもって薬物乱用防止のための啓発キャンペーンとしました。

薬物乱用防止啓発のために、同ポスターおよびリーフレットをぜひご活用ください。

【少年センター】



★令和3年度 小・中学校の講師一斉登録★

1. 日時

①令和2年12月5日(土)・6日(日)

10時～15時 市川市教育委員会会議室

②令和3年 1月16日(土)

10時～14時 市川市教育センター

(※変更の可能性あり)

2. 募集職種

(1) 県費講師…臨時的任用講師・会計年度任用職員(非常勤講師)(教員・養護教諭・学校栄養職員・事務職員)

(2) 市費会計年度任用職員…少人数学習等担当補助教員、特別支援学級等補助教員

3. 応募方法

義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 047-383-9261 (※1月以降変更の可能性あり)

※詳細はWebページをご覧ください。

【義務教育課】

